

● 学校別出題傾向と対策（社会）

<全体の傾向>

- 基本的には、**歴史 40 点、地理 40 点、公民（時事含む） 20 点**という配点の傾向。
- 他の教科よりも**平均点が例年高い**＝得意でも差をつけにくく、苦手だと差をつけられやすい科目。
そのため、**苦手な人でも平均点に近い点を取ることが求められます。**
- **時事関連は細かい所まで気にする必要はありません。**あくまで $+ \alpha$ です。

<全体の対策>

- 基本はまず**授業にしっかりついていく**ことです。日頃の学習をしっかりとやりましょう。
- 授業で行っている**レベル別暗記チェックテストをしっかりとやる。**
「歴史」は10月頃から開始予定。
レベル1 : 入試をする際に、最低限必要なレベル。
レベル2 : 入試にある程度対応できるレベル。
- **土佐塾模試や学進会**などの過去問を解くことで、現在の**実力・得意な範囲・苦手な範囲**を具体的に確認していきましょう。
5年生向け土佐塾模試は地理のみで、かつ範囲が指定されています。地理が苦手な人はそこから。
- **冬頃から過去問**を始めても遅くありません。**他の学校の過去問を解くのも十分な効果がある**ので積極的にやっておきましょう。授業でも冬頃から過去問をやっていきます。
- 暗記の反復のために、「**クイズグランプリ**」を積極的に活用しましょう。

【土佐塾中学校の傾向と対策】

- テキストなどでは見かけない図やグラフを使ってくることがあるが、**出題は広く浅く基礎部分のみ。**
 - ①.暗記チェックレベル1までを理解する・・・・・・・・・・・・・・・・（70%）
 - ②.土佐塾中学校の過去問を数年分解いておく・・・・・・・・・・・・（85%）

【学芸中学校の傾向と対策】

- **短答式の出題**が多い。問題文が短い＝ヒントが少ない。また、**一行程度の記述問題**があります。
- 県内の他校ではほぼ出ない「**地図の読み取り**」「**世界の国々・地理**」が頻出なので対策が必要。
- 過去問は似たパターンの出題形式が多い。
 - ①.暗記チェックレベル2までをだいたい理解している・・・・・・・・（60%）
 - ②.何月の土佐塾模試でも必ず平均点以上が取れるようになる・・・・・・・・（80%）
 - ③.学芸の過去問を5年分以上しっかりとやる・・・・・・・・・・・・（95%）※日頃のニュースなどの**時事関連**を知っている・・・・・・・・・・・・（ $+ \alpha$ ）

【土佐中学校の傾向と対策】

- 県内においては最難関。知識の理解を求め**一行程度の記述**もたまにあります。
- 社会が苦手な人は他の学校の過去問3年分ぐらいから**ステップアップ**していくと良いでしょう
 - ①.暗記チェックレベル2まで理解している・・・・・・・・・・・・（60%）
 - ②.テキストの**自由自在**をすべてこなして、ほぼ理解できている・・・・・・・・（85%）
 - ③.土佐の過去問を5年分以上しっかりとやる・・・・・・・・・・・・（90%）※日頃のニュースなどの**時事関連**をある程度しっかりと把握している・・・・・・・・（ $+ \alpha$ ）

【国際中学校】

- 適性検査。資料などを用いて文章をかかせる問題もあるが、結局基礎知識をしっかり持つことが必要。文章対策としては、「テキストをしっかり読む」ことで用語を丸暗記するのではなくて、理解することを常に心がけること。誰かに用語の説明をする、などの訓練も良い。
学芸の社会が合格レベル（約7割くらい正解）なら、合格水準を超えている。

【愛光中学校】

- 学芸よりもかなり難しい「世界の国々」の出題があるので、特化した対策が必要。